

高音質を狙ったツイーターインストールを 現役オーディオカーから学ぶ!!



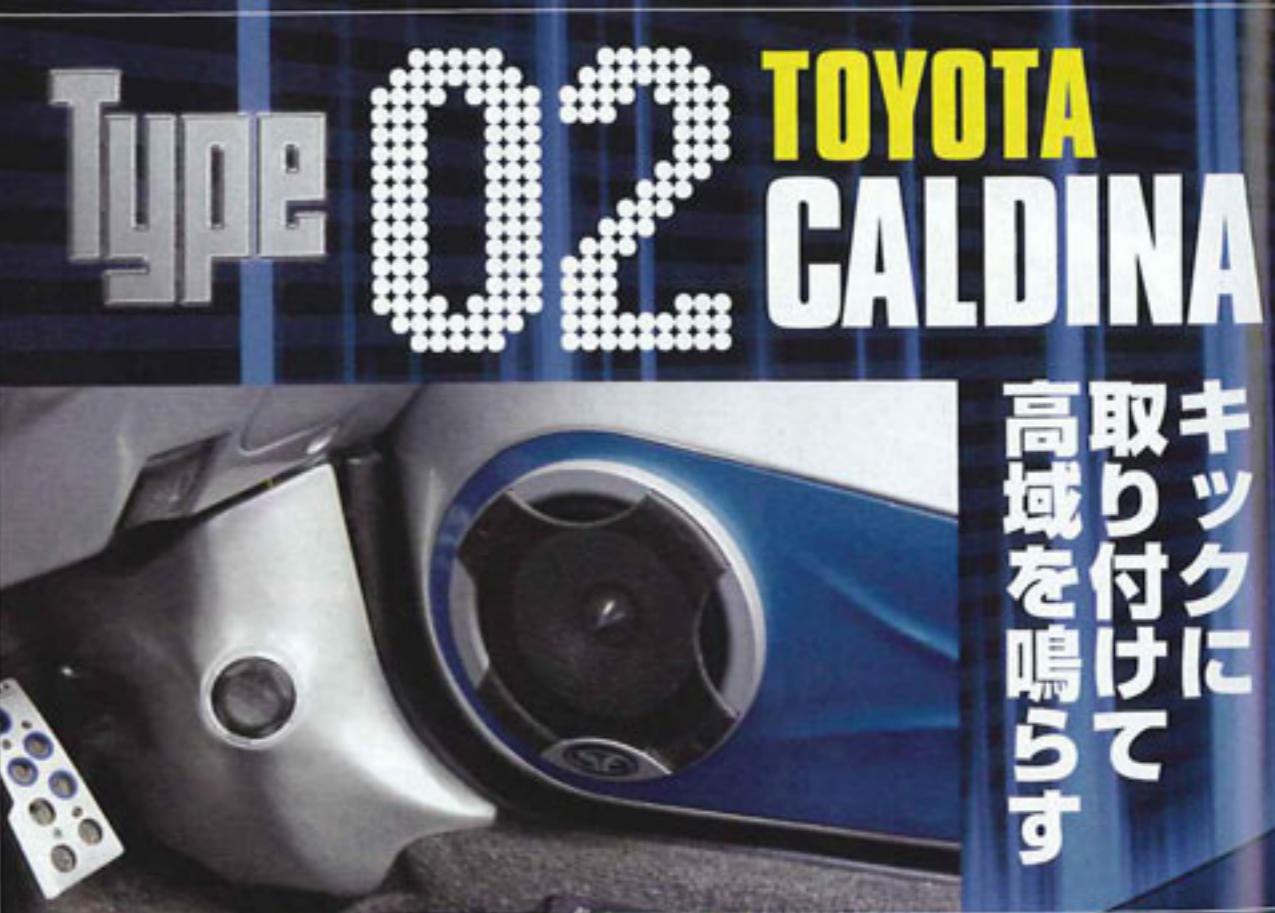
ライバルのクルマがどのようにユニットを取り付けているかすごく気になるよね。そこで、今回はスピーカーのなかでも、高域を担当するツイーターを大特集。高音質を狙いつつ、いかにウマくインストールをしているかチェックしていこう!!

マスター

ツイーターも軽視禁物。

現在、カーオーディオで一般的なつてはいるのが、ツイーターとミッドベイスを組み合わせた2ウェイシステム。そのなかにも、セパレート2ウェイとコアキシャル2ウェイがあるのだが、本企画では、セパレート2ウェイのツイーターの取り付けに注目していく。その前に、ツイーターについて少し解説する。ツイーターとは、高域を受け持つスピーカーユニット。1つのスピーカーで全帯域を鳴らすフルレンジスピーカーによる高域再生に比べ、指向性が強く、分割振動による歪みの少なさなどが特徴。ハイクオリティを狙うハイファイ再生では、ツイーターを独立させた方が有利という意見が多い。また、ツイーターにはいくつかの種類がある。カー用のユニットで最も一般的で、振動板の面から音を出すため、放射する範囲が広いドーム型、再生レンジが比較的広めのリング型、ミッドベースなどと同じ形状を採用し、他のタイプのモノと比べると低めの周波数まで再生可能なコーン型、超高域再生にスグれたリボン型などがある。どのタイプをチョイスするかはそれぞれの好みにもよるが、音色の好みに加え、取り付けのしやすさ、見た目のカッコよさなどを総合的に踏まえ、気に入ったモノを取り付けるといいだろう。

インストールスポットとして比較的多いのはAピラー・ドアミラー裏、また、キックパネル、ダッシュ、ドアに異なった場所へのインストールを採用しているので、その特徴と効果をしっかりとチェックしていこう!



Type 01 NISSAN OTTI

チヨー狭い
ドアミラー裏に
ダブルでセット！

キックに
取り付けて
高域を鳴らす



Type 02 TOYOTA bB

純正が収まっていた
ダッシュ手前に
インストール!!

非常作
ダッシュ
シユ上
音難
し！

SUBARU STELLA

Type 1

NISSAN OTTI

オーナー／櫻井佳廣サン（大阪府枚方市） ベースカー／オッティ 06年型
製作ショップ／ホットワイヤード TEL:052-262-8831 PHOTO／上田穂高



パワフルなサウンドを実現すべく スピーカーを大量導入した一台！

ワンオフのバンパーをまとい、VW純正のBBS16インチホイールを履かせ、ワンオフの車高調などで外装をばっちりキメている06年型のオッティ。オーディオにチカラを入れ始めてから徐々に作り上げ、愛情を注いで仕上げた一台は見る者を圧倒する！

インパクトのある外装に負けないくらい、内装も強烈な仕上がり。なんといってもこのオッティは、ミッドベースをフロントドアにダブル+ダッシュにも取り付け、トリプルで中低域を元気よく鳴らしている。パワフルなサウンドはもちろん、16.5cmのスピーカーが計6発も軽カーボンの狭いフロントセクションにインストールされているワケだから、ビジュアル面でもド迫力のドレスアップを実現しているゾ。

そして、ツイーターにも大注目すべし。なんと、ドアミラー裏の超ナローなスペースにダブルでセット。Aピラーやドアといったスペースがある程度確保できる個所とは違い、格段に狭いトコロでダブル

付けを実現しているのにはオドロキ。この秘密は、ファイバーでパネルを形成したことにあるんデス。ファイバーは頑丈かつ薄く作れる魅惑のアイテム。バテを使ってしまうと厚みが増し、ドアミラー裏にダブルツイーターなんて芸当はとてもじゃないけどこなせない。このスペースにセットしてしまったインストーラーの技術とセンスにあっぱれ!!

フロント側だけじゃなく、ラゲッジで繰り広げられているカスタムオーディオにも見どころが満載だ。サラウンドスピーカーは、最後方のサイドウインドーを完全にふさぎ、そのスペースにダブルでインストール。パワーアンプもタテに3台並べ、デザイン性をグッと高めている。そして、ファイバーで形成されたサブウーハーボックスには、ロックフォードのユニットを逆付けして存在をモーレツアピール！

文句ナシでイカしたこのオーディオカーはまさに至極の一一台！ このクルマのオーナーが羨ましい♪



Treble Master



ツイーターインストール Part.1

**音のつながりを重視し
ドアミラー裏にセット！**



ドア×2発、ダッシュ×1発のトリプルミッドベースを採用しているため、ミッドベースとの音のつながりを考えると、ドアミラー裏が最適と判断。また、高域のスピード感やレスポンスを上げるためにダブルツイーターを採用している。さらに、ファイバーを駆使しつつ純正パネルを生かし、ドアミラー裏への取り付けを実現しているのだ。スピーカーへのインストールと比べ、リスナーに近くなりすぎるが、そこはタイムアライメントなどを使い、しっかり調整済みだ!!

- 01ワンオフのバンパーやVW純正のBBSホイールをカラーリングしてエクステリアをまとめたオッティ。
- 02より良いサウンドで音楽と映画を楽しむべく、オーディオカー製作に取り組んだオーナーの櫻井サン。
- 03ルーフにはファイバーを使ったラックを設置して、モニターをタテに並べギャラリーに迫力のインパクトを与える。そして、8.5インチフリップダウンモニター×2枚もセットし、さらなるビジュアル効果を演出☆
- 04センターメーター手前には、純正かと思わせるような自然なインストールでセンタースピーカーを設置。
- 05ステアリング奥のダッシュには、プロセッサーの表示パネルをスマートにインストール。
- 06グローブボックス下のスペースに埋め込まれたDVDチェンジャーやブーストメーターは実にスマート！
- 07ロックフォード・T162Sのミッドベース×2発をフロントドアにカスタムインストール。スピーカー回りをファイバーで形成しつつ、ブルーのLEDも取り付け、ミッドベースの存在感をさらにアピールしているぞ!!
- 08ヘッドユニットはアルバインのナビ・INA-HD55を使用し、センタークラスターの2DINスペースにセット。
- 09暗がりのなかでリアのサイドウインドーをよく見ると、外に向けてモニターの映像が映し出されている。これはナイトシーンでかなり目立ちそうなインストールテクニック!! イベントでも注目のマト間違いナシ！
- 10軽カーのラゲッジとは思えないくらいに数多くのユニットがぎっしりとインストールされている。
- 11フロントセクションで目立つのがダッシュ両脇にあるミッドベース。ドアにあるスピーカーと合わせ、トリブルで中低域を鳴らしているのだ。ルックスも迫力満点だけど、サウンドのインパクトってスゴいのだ☆
- 12リアシートの足もとには、アルバインのプロセッサー本体などが埋め込まれている。
- 13ラゲッジにセットした3台のアンプはロックフォードのT1500-1dbとT600-4×2台をチョイス。
- 14ファイバーを駆使して製作されたサブウーハーボックスにはロックフォードのユニットを逆付けでセット。
- 15最後方のウインドーを完全にふさぎ、そのスペースにサラウンドスピーカーをダブルでインストール!!